

平成 30 年度 後 期

技 能 検 定 受 検 案 内

（ 技能五輪三重県予選参加案内
三重県技能競技大会参加案内 ）

【受検申請受付】

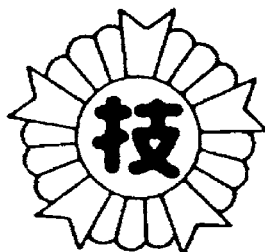
平成30年10月1日(月)～10月12日(金)(土日祝日は除く)

★受付時間 午前9:00～午後4:00まで

(注) 郵送の場合は、10月5日(金)当日消印まで有効。

また、受付開始日より前に到着しても受付できません。

(返送させていただきます。P5の注9参照)



技能検定は、職業能力開発促進法に基づいて受検者の皆さんがもっている技能の程度を一定の基準によって決定することにより、皆さんの技能が一層みがかれ、また、皆さんの地位が一層向上することを期待して技能検定職種ごとに、特級、1級、2級、単一等級及び3級に区分し、実技試験及び学科試験によって行う国家試験です。

三 重 県 職 業 能 力 開 発 協 会

◎ 実 施 日 程

事 項		摘 要	
受検申請受付		<p>平成30年10月1日(月)～10月12日(金)まで(土、日、祝日は除く)</p> <p>★ 受付時間 午前9:00～午後4:00まで</p> <p>注: 郵送の場合は、10月5日(金)当日消印まで有効。また、受付開始日より前に到着しても受付できません。(返送させていただきます。P5の注9参照)</p> <p>注: 受付終了後は、いかなる理由があっても手数料のお返しはできません。</p>	
提出書類	受検申請書	1通	書き方はP13記載例参照
	受検手数料	現金のみ有効	P1 参照
	本人確認書類	全ての申請者(写しを貼付)	P1 参照
	免除の証明書	免除のある者(写しを添付)	P10・11 参照
	区分表	資料No.5・6・7のうち該当する級を使用	資料No.4(記入例) 参照
	個人情報提供承諾書	資料No.11使用	署名・捺印
提出場所		<p>三重県職業能力開発協会 ☎ 059-228-2732</p> <p>〒514-0004 津市栄町1丁目954番地 三重県栄町庁舎 4階</p>	
実技試験	問題公表	平成30年11月26日(月)	<p>●実技試験問題あるいは概要は、公表日以降、上記提出場所で閲覧できます。</p> <p>●受検票は、実技試験・学科試験の試験会場・集合時間が決定次第、試験実施日の約1ヶ月～1週間前までに順次送付します。(受検票には、公表されている実技試験問題あるいは概要を同封します。)</p> <p>注: 実技試験において受検人員が僅少の場合、又は諸般の事情により実技試験を取りやめにする場合があります。(受検手数料はお返しします。)</p>
	実施期間	平成30年12月3日(月) 平成31年2月17日(日)	
学科試験	実施日	平成31年1月27日(日)	
		平成31年2月3日(日)	
		平成31年2月10日(日)	
合格発表	日時	平成31年3月15日(金)	
	発表方法	<p>●合格者には、書面で通知します。実技又は学科試験のどちらかに合格された方には、ハガキで通知します。(不合格者へは通知しませんので、予め御了承ください。)</p> <p>●合格者と片方合格者の受検番号をそれぞれ以下のホームページに掲載します。</p> <p>合格者: 三重県 (http://www.pref.mie.lg.jp/oshigoto/09646012819.html)</p> <p>片方合格者: 三重県職業能力開発協会 (http://www.mivada.or.jp/)</p> <p>注: 電話による合否および得点ならびに受検番号の照会にはお答えできません。</p> <p>注: 片方合格ハガキは、免除の証明書になりますので大切に保管してください。</p>	
	得点の開示	実技試験及び学科試験の得点結果については、三重県個人情報保護条例第27条第1項の規定に基づき、受検者本人に限り、口頭による開示請求ができます。	
		開示期間	合格発表の日から1年間(土・日・祝日・年末年始を除く。時間8:30～17:15)
開示場所		三重県職業能力開発協会(上記提出場所)	
	必要なもの	受検票及び運転免許証等の本人確認ができるものを必ず御持参ください。	

◎ 本人確認書類の提出について

受検申請時には、本人確認書類として、以下のいずれかの書類の写しを**必ず**提出してください。

- (1) 運転免許証
- (2) 個人番号カード（個人番号が記載されている箇所は黒塗りすること）
- (3) (1)、(2)を除く日本の官公庁が発行した身分証明書
（氏名及び生年月日が確認できるものに限る）
- (4) 健康保険被保険者証
- (5) 生徒手帳又は学生証（氏名及び生年月日が確認できるものに限る）
- (6) 特別永住者証明書
- (7) 在留カード
- (8) 外国政府が発行した旅券（写真欄及び日本国査証欄）

本人確認書類を添付する際は、**必ず受検申請書裏面の記入上の注意欄に原本サイズのまま切取したものをのり付けで貼付してください。**

（詳細は別紙「本人確認書類（写し）の貼付方法について」をご確認ください。）

紛失防止、受付審査時間短縮のため、御協力をお願い致します。

- (注1) 本人確認書類を貼付していない場合は、受付できませんので御注意ください。
申請前には、必ず提出書類が全て揃っているか確認をお願い致します。
（事業所・団体一括申請の場合、本人確認書類が貼付されていない申請者分のみ返却致します。
受検手数料と併せて再度個別に受付が必要となりますので御注意ください。）
- (注2) 原本の提示では受付できません。必ず写しを貼付してください。
- (注3) 本人確認書類は、写りの鮮明なものを貼付してください。（白黒印刷でも可。）
- (注4) コピー機等で写しを作成する場合、氏名及び生年月日記載面のみ複写してください。
（外国政府が発行した旅券の写し等を作成する場合は、写真欄及び日本国査証欄の記載面を複写してください。）

◎ 受検手数料

実技試験 17,900円

学科試験 3,100円

※3級については高等学校等の在校生の場合、実技試験の受検手数料は**11,900円**となります。

技能検定実技試験受検手数料の減免について

下記の対象者は実技試験受検手数料が**9,000円**減額されます。

・減免措置の対象者（i～iiiを全て満たす者）

- i 技能検定の2級又は3級の実技試験を受検する者
- ii 平成30年4月1日時点で35歳未満の者 ※昭和58年（1983年）4月2日以降に生まれた者
- iii 出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）別表第一の上欄の在留資格をもって在留する者以外の者

実技試験受検手数料一覧

級別	減免有無	減免なし	減免あり
特級・1級・単一等級		17,900円	減免対象外
2級・3級		17,900円	8,900円
3級（在校生）		11,900円	2,900円

※学科試験は減免対象外のため、一律3,100円

◎ 実施職種・試験実施日

※ P 5 の欄外の注意書きを必ずお読みください。

(1) 特 級 (25 職種)

職種 番号	職 種 名	作業 番号	学 科 試 験	
			実 施 日	実 技 試 験 実 施 日
				計画立案等作業試験
003	鑄 造	000		
005	金 属 熱 処 理	000		
006	機 械 加 工	000		
095	放 電 加 工	000		
114	金 型 製 作	000		
007	金 属 プ レ ス 加 工	000		
123	工 場 板 金	000		
010	め つ き	000		
012	仕 上 げ	000		
013	機 械 検 査	000		
014	ダ イ カ ス ト	000		
015	電 子 機 器 組 立 て	000		
016	電 気 機 器 組 立 て	000	2 月 3 日 AM	○ 2 月 3 日 PM
141	半 導 体 製 品 製 造	000		
162	プ リ ン ト 配 線 板 製 造	000		
097	自 動 販 売 機 調 整	000		
148	光 学 機 器 製 造	000		
067	内 燃 機 関 組 立 て	000		
142	空 気 圧 装 置 組 立 て	000		
084	油 圧 装 置 調 整	000		
068	建 設 機 械 整 備	000		
025	婦 人 子 供 服 製 造	000		
026	紳 士 服 製 造	000		
037	プ ラ ス チ ッ ク 成 形	000		
130	パ ン 製 造	000		

(2) 1・2級 (28職種39作業)

職種 番号	職 種 名	作業 番号	作 業 名	学 科 試 験 実 施 日	実 技 試 験 実 施 日		
					製作等作業試験	計画立案等作業試験	判断等試験
121	さ く 井	010	パーカッション式 さく井工事	2月3日PM		○ 1月20日AM	○ 1月20日
		020	ロータリー式 さく井工事				
123	工 場 板 金	030	機 械 板 金	2月3日PM	○		
		040	数値制御タレット パンチプレス板金				
013	機 械 検 査	010	機 械 検 査	1月27日AM	○	○ 1月27日PM	
016	電 気 機 器 器 組 立 て	060	シーケンス制御	1月27日AM	○	○ 1月27日PM	
141	半 導 体 製 造	010	集 積 回 路 チップ製造	2月10日AM			○ 1月27日
		020	集積回路組立て				
162	プ リ ン ト 配線板製造	010	プ リ ン ト 配線板設計	2月10日AM	○ 1月 27日AM		
		020	プ リ ン ト 配線板製造				
097	自 動 販 売 機 調 整	010	自 動 販 売 機 調 整	2月3日PM	○		
142	空 気 圧 装 置 器 組 立 て	010	空 気 圧 装 置 器 組 立 て	2月10日PM		○ 1月20日AM	○ 1月20日
084	油 圧 装 置 器 調 整	010	油 圧 装 置 器 調 整	2月3日AM	○	○ 2月3日PM	
077	農 業 機 械 備 整	010	農 業 機 械 備 整	2月3日AM	○	○ 2月3日PM	
069	冷 凍 空 気 調 和 機 器 施 工	010	冷 凍 空 気 調 和 機 器 施 工	2月3日AM	○	○ 2月3日PM	
028	寝 具 製 作	010	寝 具 製 作	2月3日PM	○		
034	プ リ プ レ ス	036	D T P	2月10日AM	○		
150	石 材 施 工	010	石 材 加 工	2月3日AM	○		
151	菓 子 製 造	020	和 菓 子 製 造	2月10日PM	○		
099	み そ 製 造	010	み そ 製 造	2月3日AM	○		
038	建 築 大 工	010	大 工 工 事	2月10日AM	○		
039	か わ ら ぶ き	010	か わ ら ぶ き	2月10日AM	○		

(2) 1・2級

職種 番号	職 種 名	作業 番号	作 業 名	学 科 試 験 実 施 日	実 技 試 験 実 施 日		
					製作等作業試験	計画立案等作業試験	判断等試験
046	配 管	010	建 築 配 管	1月27日 AM	○	○ 1月27日 PM	
		020	プ ラ ン ト 配 管 (鋼 管 の み)				
074	型 枠 施 工	010	型 枠 工 事	1月27日 AM	○	○1級のみ 1月27日 PM	
047	鉄 筋 施 工	020	鉄 筋 組 立 て	2月10日 PM	○		
157	コンクリート 圧 送 施 工	010	コ ン ク リ ー ト 圧 送 工 事	2月10日 PM		○ 1月20日 AM	○ 1月20日 AM
086	防 水 施 工	010	ア ス フ ェ ル ト 防 水 工 事	2月3日 AM	○		
		040	合 成 ゴ ム 系 シ ー ト 防 水 工 事				
		050	塩 化 ビ ニ ル 系 シ ー ト 防 水 工 事				
		090	改 質 ア ス フ ェ ル ト シ ー ト ト ー チ 工 法 防 水 工 事				
050	ガ ラ ス 施 工	010	ガ ラ ス 工 事	1月27日 AM	○	○1級のみ 1月27日 PM	
088	テクニカルイラ ス ト レ ー シ ョ ン	050	テ ク ニ カ ル イ ラ ス ト レ ー シ ョ ン 手 書 き	2月10日 AM	○ 1月20日 AM		
		060	テ ク ニ カ ル イ ラ ス ト レ ー シ ョ ン C A D				
052	機 械 ・ プ ラ ン ト 製 図	010	機 械 製 図 手 書 き	2月3日 AM	○ 1月27日		
		015	機 械 製 図 C A D				
075	金 属 材 料 試 験	010	機 械 試 験	1月27日 AM	○2級のみ	○2級のみ 1月27日 PM	
		020	組 織 試 験		○		
060	塗 装	040	銅 橋 塗 装	2月10日 AM	○		

(3) 単一等級 (1職種1作業)

職種 番号	職 種 名	作業 番号	作 業 名	学 科 試 験 実 施 日	実 技 試 験 実 施 日		
					製作等作業試験	計画立案等作業試験	判断等試験
136	バルコニー 施 工	010	金 属 製 バ ル コ ニ ー 工 事	2月3日 PM		○ 1月20日 AM	○ 1月20日

(4) 3級 (11 職種 13 作業)

職種 番号	職 種 名	作業 番号	作 業 名	学 科 試 験 実 施 日	実 技 試 験 実 施 日		
					製作等作業試験	計画立案等作業試験	判断等試験
062	造 園	010	造 園 工 事	2月3日 PM	実施 なし		
006	機 械 加 工	010	普 通 旋 盤	2月10日 AM	実施 なし		
013	機 械 検 査	010	機 械 検 査	2月10日 PM	○		
015	電 子 機 器 組 立 て	010	電 子 機 器 組 立 て	2月10日 PM	実施 なし		
016	電 気 機 器 組 立 て	060	シーケンス制御	1月27日 AM	○		
162	プ リ ン ト 配 線 板 製 造	010	プ リ ン ト 配 線 板 設 計	2月10日 AM	○ 1月 27日 AM		
124	家 具 製 作	010	家 具 手 加 工	2月3日 PM	○		
038	建 築 大 工	010	大 工 工 事	2月10日 AM	○		
074	型 枠 施 工	010	型 枠 工 事	1月27日 AM	○		
088	テクニカルイラ ストレーション	050	テクニカルイラスト レーション手書き	2月10日 AM	○ 1月20日 AM		
		060	テクニカルイラスト レーション CAD				
052	機械・プラント 製 図	010	機械製図手書き	2月3日 AM	○ 1月27日		
		015	機械製図 CAD				

- (注 1) 同時に2以上の検定職種(作業)の受検申請は認められません。(誤って申し込まれた場合でも受検料は返金できませんので御注意ください。)
- ただし、受検しようとする2以上の検定職種(作業)のうち、学科・実技両方に免除資格がある場合(D申請)のみ、受検申請を認めます。
- (注 2) 実技・学科両方免除(D申請)の場合は、全ての職種(作業)について、前期・後期いずれでも受検申請を認めます。
- (注 3) 実技試験において、受検人員が僅少の場合など、諸般の事情により実技試験を行わないことがあります。
- (注 4) 「学科試験実施日」欄に月日が記入してあるのは、当該左欄にある職種(作業)の実施日です。
- (注 5) 「実技試験実施日」欄に月日が記入してあるのは、全国統一で実施される試験です。
また、日付の記入されていない○印は平成30年12月3日(月)から平成31年2月17日(日)までのうち、いずれかの日に行う試験です。
- (注 6) 学科試験会場及び実技試験会場の一部は、P15～P18に参考地図を記載してあります。
- (注 7) 技能検定実技試験の概要等については、中央職業能力開発協会のホームページをご覧ください。
- (注 8) 障害者の受検に際して特別な配慮をする必要がある方は、申請時に申し出てください。
- (注 9) 郵送で申込みをされる場合、申請書類等(現金含む)は、受付開始日以降に到着するように送付してください。受付開始日より前に到着した場合には、返送させていただきますので御注意ください。(返送料は申請者に御負担願います。)

◎ 学科試験科目

特 級

試 験 科 目		試 験 科 目 の 範 囲
各 職 種 共 通	1. 工 程 管 理	生産活動の流れ、生産の形態、工程管理の役割、日程計画、現品管理、 進捗管理、余力管理、在庫管理
	2. 作 業 管 理	作業の標準化、方法研究、作業測定の方法、作業改善
	3. 品 質 管 理	品質管理の考え方、統計の基礎知識、品質管理手法及びその活用、 管理図の種類及びその活用、抜取検査の種類及びその活用
	4. 原 価 管 理	原価管理の考え方、原価構成要素、原価低減及びその評価
	5. 安全衛生管理 及び環境の保全	安全衛生管理、環境保全、公害防止
	6. 作 業 指 導	教育訓練計画のたて方及び教育訓練の実施、仕事の教え方、改善の仕方、 人の扱い方、教育訓練の方法
	7. 設 備 管 理	設備管理の考え方、設備点検の方法、不良事項の原因及びその徴候、 設備診断、設備と環境との関係

◎上記の他、各職種について現場技術の科目があります。

1 級、2 級

検 定 職 種	試 験 科 目
さ く 井	1. 井戸一般 2. 施工法一般 3. 材料 4. ポンプ 5. 揚水試験 6. 地質柱状図 7. 関係法規
工 場 板 金	1. 工場板金加工法一般 2. 機械工作法 3. 材料 4. 材料力学 5. 製図 6. 電気
機 械 検 査	1. 測定法 2. 検査法 3. 品質管理 4. 機械要素 5. 機械工作法 6. 材料 7. 材料力学 8. 製図 9. 電気
電気機器組立て	1. 電気機器組立て一般 2. 電気 3. 製図 4. 機械工作法 5. 材料 6. 関係法規
半導体製品製造	1. 半導体一般 2. 電気 3. 半導体製品製造法一般 4. 製図 5. 公害防止その他環境保全
プ リ ン ト 配 線 板 製 造	1. プリント配線板一般 2. 電気 3. プリント配線板製造法一般 4. 実装 5. 関係法規
自動販売機調整	1. 自動販売機 2. 材料 3. 自動販売機調整法 4. 電気・化学一般 5. 関係法規
空 気 圧 装 置 組 立 て	1. 空気圧装置一般 2. 空気圧装置組立て法 3. 材料 4. 製図 5. 電気 6. 油圧 (1級のみ)
油 圧 装 置 調 整	1. 油圧装置一般 2. 油圧装置調整法 3. 作動油 4. 材料 5. 製図 6. 電気 7. 空気圧 (1級のみ) 8. 関係法規
農 業 機 械 整 備	1. 農業機械一般 2. 農業機械整備法 3. 材料 4. 機械要素 5. 製図 6. 農業一般 7. 関連基礎知識 8. 関係法規
冷 凍 空 気 調 和 機 器 施 工	1. 冷凍空気調和一般 2. 施工法 3. 冷凍空気調和機器及び冷凍空気調和機器設備の整備 4. 材料 5. 電気 6. 製図 7. 関係法規
寝 具 製 作	1. 寝具製作法 2. 材料 3. 寝具一般
プ リ プ レ ス	1. プリプレス、印刷及び製本一般 2. 材料
石 材 施 工	1. 施工法一般 2. 材料
菓 子 製 造	1. 食品一般 2. 菓子一般 3. 関係法規
み そ 製 造	1. みそ製造法 2. 微生物及び酵素 3. 化学一般 4. 電気 5. 関係法規

検 定 職 種	試 験 科 目
建 築 大 工	1. 建築構造 2. 規矩術 3. 施工法 4. 材料 5. 製図 6. 関係法規
か わ ら ぶ き	1. 屋根 2. 施工法 3. 材料 4. 建築概要 5. 製図
配 管	1. 施工法一般 2. 材料 3. 製図 4. 関係法規
型 枠 施 工	1. 施工法 2. 材料 3. 建築構造及び土木構造 4. 製図 5. 関係法規
鉄 筋 施 工	1. 建築構造 2. 施工法 3. 材料 4. 建築設計図 5. 関係法規
コ ン ク リ ー ト 圧 送 施 工	1. 建設一般 2. 施工法 3. 材料 4. コンクリートの圧送性 5. 製図 6. 関係法規
防 水 施 工	1. 建設一般 2. 製図 3. 関係法規
ガ ラ ス 施 工	1. 施工法 2. 材料 3. 建築構造 4. 製図 5. 関係法規
テ ク ニ カ ル イ ラ ス ト レ ー シ ョ ン	1. 製図 2. 立体図 3. 関連基礎知識 4. 立体図作成法 5. CAD
機 械 ・ プ ラ ン ト 製 図	1. 製図一般 2. 材料 3. 材料力学一般 4. 溶接一般 5. 関連基礎知識
金 属 材 料 試 験	1. 金属材料試験法一般 2. 材料 3. 機械要素 4. 機械工作法 5. 製図 6. 電気
塗 装	1. 塗装一般 2. 材料 3. 色彩 4. 関係法規

単一等級

検 定 職 種	試 験 科 目
バルコニー施工	1. バルコニー一般 2. 施工法 3. 材料 4. 建築構造 5. 製図 6. 関係法規

3級

検 定 職 種	試 験 科 目
造 園	1. 庭園及び公園 2. 施工法 3. 材料 4. 設計図書 5. 関係法規
機 械 加 工	1. 工作機械加工一般 2. 機械要素 3. 機械工作法 4. 材料 5. 材料力学 6. 製図 7. 電気
機 械 検 査	1. 測定法 2. 検査法 3. 品質管理 4. 機械要素 5. 機械工作法 6. 材料 7. 製図 8. 電気
電 子 機 器 組 立 て	1. 電子機器 2. 電子及び電気 3. 組立て法 4. 材料 5. 製図
電 気 機 器 組 立 て	1. 電気機器組立て一般 2. 電気 3. 製図 4. 機械工作法 5. 材料 6. 関係法規
プ リ ン ト 配 線 板 製 造	1. プリント配線板一般 2. 電気 3. プリント配線板製造法一般 4. 実装 5. 関係法規
家 具 製 作	1. 家具一般 2. 製図
建 築 大 工	1. 建築構造 2. 規矩術 3. 施工法 4. 材料 5. 製図
型 枠 施 工	1. 施工法 2. 材料 3. 建築構造及び土木構造 4. 製図 5. 関係法規
テ ク ニ カ ル イ ラ ス ト レ ー シ ョ ン	1. 製図 2. 立体図 3. 立体図作成法 4. CAD
機 械 ・ プ ラ ン ト 製 図	1. 製図一般 2. 材料 3. 材料力学一般 4. 溶接一般 5. 関連基礎知識 6. 機械製図法

(注1) 上記の試験科目のほか、共通の安全衛生の科目があります。

(機械・プラント製図職種、テクニカルイラストレーション職種を除く)

(注2) 複数の作業がある職種については、選択された作業の学科科目も含まれます。

(注3) 平成30年度後期技能検定学科試験における関係法令、JIS等の各種規格等の記載に基づく出題については、原則として、平成30年4月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。
ただし、職種（作業）ごとに、実作業の現場における普及状況等を勘案し、一般的に使用されている従前の施行内容に基づく場合もあります。

◎ 受検資格 (1)

技能検定には、特級、1級、2級、単一等級及び3級にそれぞれ受検資格があり、この受検資格は、職業訓練歴や学歴によりいろいろ定められていますが、いずれも検定職種に関する実務の経験が必要です。

必要な実務の経験年数をおもな学歴別に示すと下表のとおりです。(免許歴、訓練歴、学歴ごとの実務経験年数については、それぞれ取得後、修了後、卒後の実務経験年数となります。)

区 分		3 級	2 級		1 級			単一等級 単一等級 受検に必要 な実務 経験年数	特 級 1 級合格 後の実務 経験年数 ◎
		3 級受検 に必要な 実務経験 年数	2 級受検に必要な実 務経験年数		1 級受検に必要な実務経験年数				
				3 級合格 後の実務 経験年数 ◎	3 級合格 後の実務 経験年数 ◎	2 級合格 後の実務 経験年数 ◎			
職業訓練指導員免許 *		0	0	0	1	1	1	0	5
長期課程の指導員訓練修了 *		0 ※	0	0	1	1	1	0	
応用課程の高度職業訓練修了 *		0 ※	0	0	1	1	1	0	
専門課程の高度職業訓練修了 *		0 ※	0	0	3	2	1	0	
普通課程の普通 職業訓練修了 *	2800h 以上	0 ※	0	0	4	4	2	0	
	2800h 未満	0 ※	0	0	5	4	2	1	
短期課程の普通 職業訓練修了 *	700h 以上	0 ※ (注4)	0	0	6	4	2	1	
専修学校(注5)又は各 種学校卒業 * (厚生労働大臣が指定 したものに限り)	3200h 以上	0 ※	0	0	4	4	2	0	
	1600h 以上	0 ※	0	0	5	4	2	1	
	800h 以上	0 ※	0	0	6	4	2	1	
大学卒業 * 専修学校(大学院入学資格付与課程 に限る)卒業 *		0 ※	0	0	4	4	2	0	
短大・高専・高校専攻科卒業 * 専修学校(大学編入資格付与課程に 限る)卒業 *		0 ※	0	0	5	4	2	0	
専門高校卒業 * 専修学校(大学入学資格付与課程に 限る)卒業 *		0 ※	0	0	6	4	2	1	
実務経験のみ		0 (注6)	2	0	7	4	2	3	

(注1) *印は、検定職種に関する学科・訓練科及び免許を卒業・修了及び取得した者に限ります。

(注2) ※印は、現在訓練を受けている者又は学科に在籍する者を含みます。

(注3) ◎印は、申請時に合格証書のコピーを添付して提出することが必要となります。

(注4) 総訓練時間が700時間未満のものを含みます。

(注5) 大学入学資格付与課程、大学編入資格付与課程及び大学院入学資格付与課程以外の専修学校。また、3級に関しては、当該学校が厚生労働大臣の指定を受けたものであるか否かにかかわらず、受検資格が付与されます。

(注6) 検定職種に関し実務の経験を有する者について、受検資格が認められます。

◎ 受検資格 (2)

技能検定試験において免許、特別教育等が必要な職種（作業）一覧

次の職種（作業）を受検する者は、実技試験当日に、以下の免許証・特別教育修了証・技能講習修了証の確認又は同等の知識及び技能を有していることの自己申告書への署名等が必要となります。

職 種（作業）名	等 級	該 当 内 容	試 験 当 日 の 対 応
工場板金 （機械板金作業）	1・2級	動力プレスの 金型取り付け等	特別教育受講修了証等の確認 又は自己申告書への署名
工場板金 （数値制御タレットパンチ プレス板金作業）			
冷凍空気調和機器施工 （冷凍空気調和機器施工作業）	1・2級	ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、 ガス溶接技能講習修了証等の 資格証等の確認
配管 （プラント配管作業） （※配管用炭素鋼鋼管を選択する 場合）	1・2級	ガス溶接	ガス溶接作業主任者免許証、 ガス溶接技能講習修了証等の 資格証等の確認
		アーク溶接	特別教育受講修了証等の確認 又は自己申告書への署名

◎ 試験の免除

免除なし（受検申請時に証明書(コピー)を添付すること）

1. 技能検定関係（同一の検定職種に限る）

対 象 者		技 能 検 定 試 験 の 免 除 の 範 囲					備 考
		特 級	1 級	2 級	3 級	単一等級	
特 級	実技試験のみ合格	実技の全部					※1
	学科試験のみ合格	学科の全部					※1
1 級	技能検定合格		学科の全部				
	実技試験のみ合格		実技の全部				※2
	学科試験のみ合格		学科の全部				※2
2 級	技能検定合格			学科の全部			
	実技試験のみ合格			実技の全部			※2
	学科試験のみ合格			学科の全部			※2
3 級	技能検定合格				学科の全部		
	実技試験のみ合格				実技の全部		※2
	学科試験のみ合格				学科の全部		※2
単 一 等 級	技能検定合格					学科の全部	
	実技試験のみ合格					実技の全部	※2
	学科試験のみ合格					学科の全部	※2

※1. 実技試験又は学科試験に合格した日から5年間（最終年にあつては年度終わりまで）有効。

※2. 複数の作業がある検定職種の場合には、同一の作業に限る。

2. 職業能力開発行政関係（検定職種に関する訓練科又は免許職種に限る）

対 象 者			技能検定試験の免除の範囲					備考	
			特 級	1 級	2 級	3 級	単一等級		
職業訓練指導員試験合格又は指導員免許取得				学科の全部					
応用課程の高度職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後 実務経験年数	5 年		学科の全部					
		2 年		学科の全部					
					学科の全部				
専門課程の高度職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後 実務経験年数	4 年		学科の全部					
		1 年		学科の全部					
					学科の全部				
普通課程の普通職業訓練における技能照査合格	技能照査合格後 2 年（2800 h 以上なら 1 年）実務経験			学科の全部					
				学科の全部					
短期課程の普通職業訓練について終了時試験合格かつ修了	1 級技能士コース			学科の全部					
	2 級技能士コース			学科の全部					
	単一等級技能士コース						学科の全部		
中央技能検定委員の職にあった期間が 2 年以上				実技の全部及び学科の全部					※ 1
都道府県技能検定委員又は指定事業主 団体技能検定委員の職にあった期間が 2 年以上				実技の全部					※ 1
技能五輪全国大会における技能証				実技の全部				実技の全部	
技能五輪地方大会における技能証					実技の全部				※ 2
全国障害者技能競技大会	実技部門の技能証				実技の全部				※ 2
	学科部門の技能証				学科の全部				※ 2

※ 1. 複数の作業がある検定職種の場合には、同一の作業に限る。

※ 2. 有効期限を過ぎた技能証であっても有効。

3. 他法令等関係

対 象 者			技能検定試験の免除の範囲					備考	
			特 級	1 級	2 級	3 級	単一等級		
製菓衛生師法による製菓衛生師試験に合格した者				菓子製造職種に係る学科試験のうち食品一般及び菓子一般					
建築士法による 1 級建築士試験若しくは 2 級建築士試験に合格した者又は 1 級建築士若しくは 2 級建築士の免許を受けた者				建築大工職種及びブロック建築職種に係る学科試験の全部					枠組壁建築職種に係る学科試験の全部
建築士法による木造建築士試験に合格した者又は木造建築士の免許を受けた者				建築大工職種に係る学科試験の全部					枠組壁建築職種に係る学科試験の全部
東京商工会議所が行う 和裁の技能検定	1 級技能検定合格			和裁職種に係る実技試験の全部					
	2 級技能検定合格				和裁職種に係る実技試験の全部				

◎ 技能検定職種に該当する学科課程一覧

職 種 名	高 校 ・ 大 学 等 の 学 科 課 程
造 園	造園科
さ く 井	土木科・地学科
機 械 加 工	機械科
工 場 板 金	機械科
機 械 検 査	機械科
電 子 機 器 組 立 て	電子科・電気科
電 気 機 器 組 立 て	電子科・電気科
半 導 体 製 品 製 造	機械科・電子科・電気科
プ リ ン ト 配 線 板 製 造	電子科・電気科
自 動 販 売 機 調 整	電子科・電気科
空 気 圧 装 置 組 立 て	機械科
油 圧 装 置 調 整	機械科
農 業 機 械 整 備	機械科
冷 凍 空 気 調 和 機 器 施 工	設備科
寝 具 製 作	被服科
家 具 製 作	工芸科
プ リ プ レ ス	印刷科
石 材 施 工	建築科・土木科
菓 子 製 造	菓子科・製菓科
み そ 製 造	発酵科・農芸化学科
建 築 大 工	建築科・大工科
か わ ら ぶ き	建築科
配 管	機械科・造船科・建築科
型 枠 施 工	建築科・土木科
鉄 筋 施 工	建築科・土木科
コ ン ク リ ー ト 圧 送 施 工	建築科・土木科
防 水 施 工	建築科
バ ル コ ニ ー 施 工	建築科
ガ ラ ス 施 工	建築科
テ ク ニ カ ル イ ラ ス ト レ ー シ ョ ン	機械科・電気科・建築科
機 械 ・ プ ラ ン ト 製 図	機械科・金属工学科・溶接工学科・化学工学科・工業化学科
金 属 材 料 試 験	金属工学科・機械科
塗 装	建築科・工芸科・塗装科

注) 上記学科に準ずる学科であれば該当するものとします。詳しくは当協会事務局までおたずねください。

技能五輪三重県予選参加案内

技能五輪とは

国際職業訓練競技大会（技能五輪）は1950年（昭和25年）以来、ヨーロッパ各国のあいだで職業訓練をさかんにするとともに、青年技能者たちが国際的に親しみ、お互いに理解しあって、新しい時代にふさわしい産業人になることを目的として行われているものです。

(1) 競技職種（都合により競技職種に変更がある場合があります。）

技能五輪三重県予選実施職種	技能検定に関する職種	技能五輪三重県予選実施職種	技能検定に関する職種
建築大工	建築大工 (大工工事作業)	電気溶接	-
配管	配管 (建築配管作業)	電工	-
機械製図	機械・プラント製図 (機械製図CAD作業)	西洋料理	-
石工	石材施工 (石材加工作業)		

(2) 競技期日

平成30年12月3日（月）から平成31年2月17日（日）までの間に指定する日

(3) 競技場

参加申込み者に通知します。

(4) 全国大会

予選参加者のうち成績優秀者は、三重県職業能力開発協会会長推薦により全国大会に出場することができます。

技能検定職種に関連する予選職種については、一定水準以上の成績をおさめられた方に「技能証」を交付します。技能証を取得された方は2級技能検定を受検する際、関連する職種の選択作業の実技試験が免除になります。

(5) 参加資格

平成8年（1996年）1月1日以降に生まれた者（全国大会開催年に23歳以下）。

（技能検定の受検資格のある人は同時に2級も受検できます。）

(6) 参加申込みの方法

(イ) 参加手数料 技能検定に関する職種は技能検定手数料と同様

(ロ) 受付期間 平成30年10月1日（月）～平成30年10月12日（金）（土、日、祝日は除く）

(ハ) 提出書類 技能検定2級受検申請と併用して申請される場合は、技能検定2級申請書、また、五輪単独で申請される場合は、技能五輪三重県予選参加申込書を提出してください。

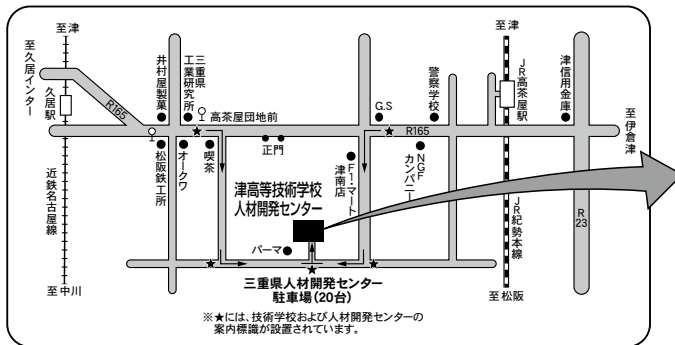
平成30年度後期三重県技能競技大会参加案内

技能検定の実技試験及び技能五輪三重県予選とかねて行いますので、これらの受検者並びに参加者は、すべて本競技大会の参加者とみなし、その成績優秀者で一定基準の成績に達した方の中からそれぞれの職種（作業）の1位から3位まで表彰します。

但し、参加者少数の職種にあっては1名又は2名になることもあります。

おもな実技試験会場案内図

三重県人材開発センター



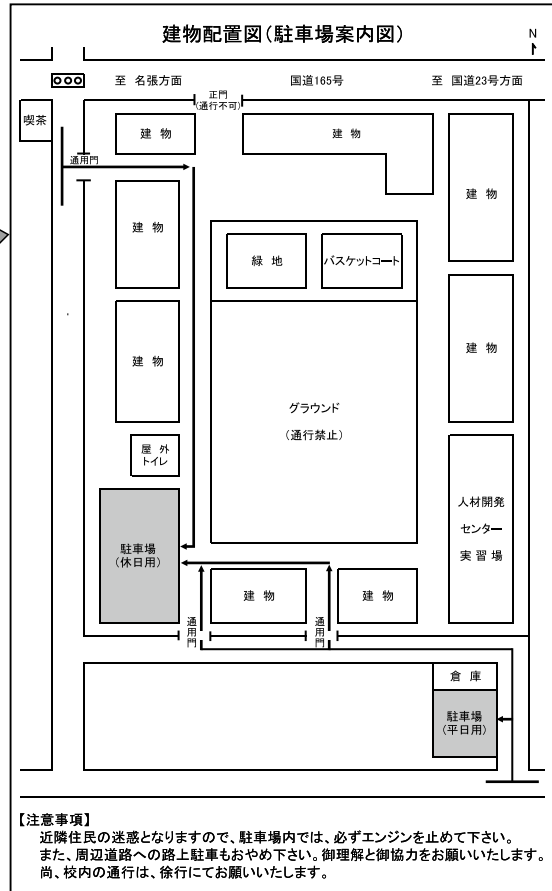
●近鉄久居駅よりバス（日本鋼管行き）
高茶屋団地前 下車 徒歩5分

●JR高茶屋駅より
徒歩20分

※バス等の公共交通機関をご利用の際は、
各自で事前に各公共交通機関等へご確認ください。

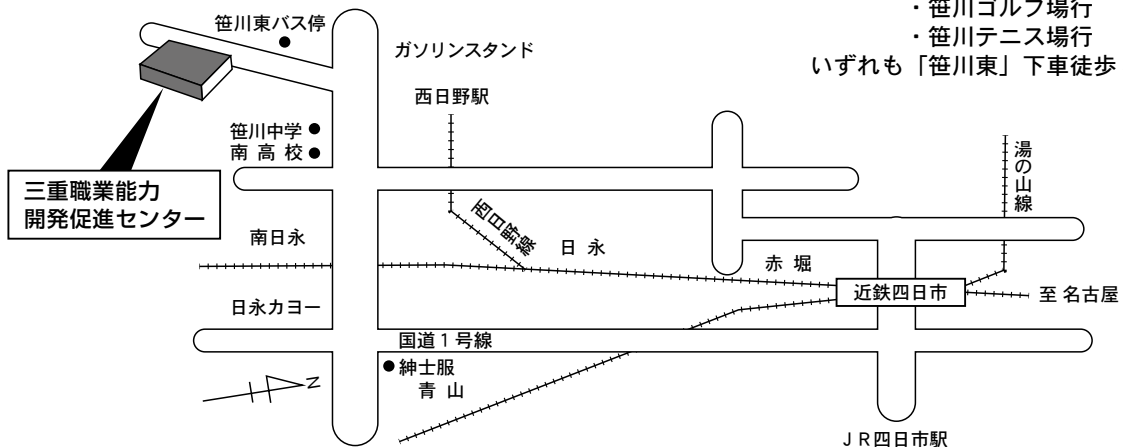
三重県人材開発センター（三重県立津高等技術学校内）
津市高茶屋小森町1176-2

拡大図



三重職業能力開発促進センター（ポリテク三重）

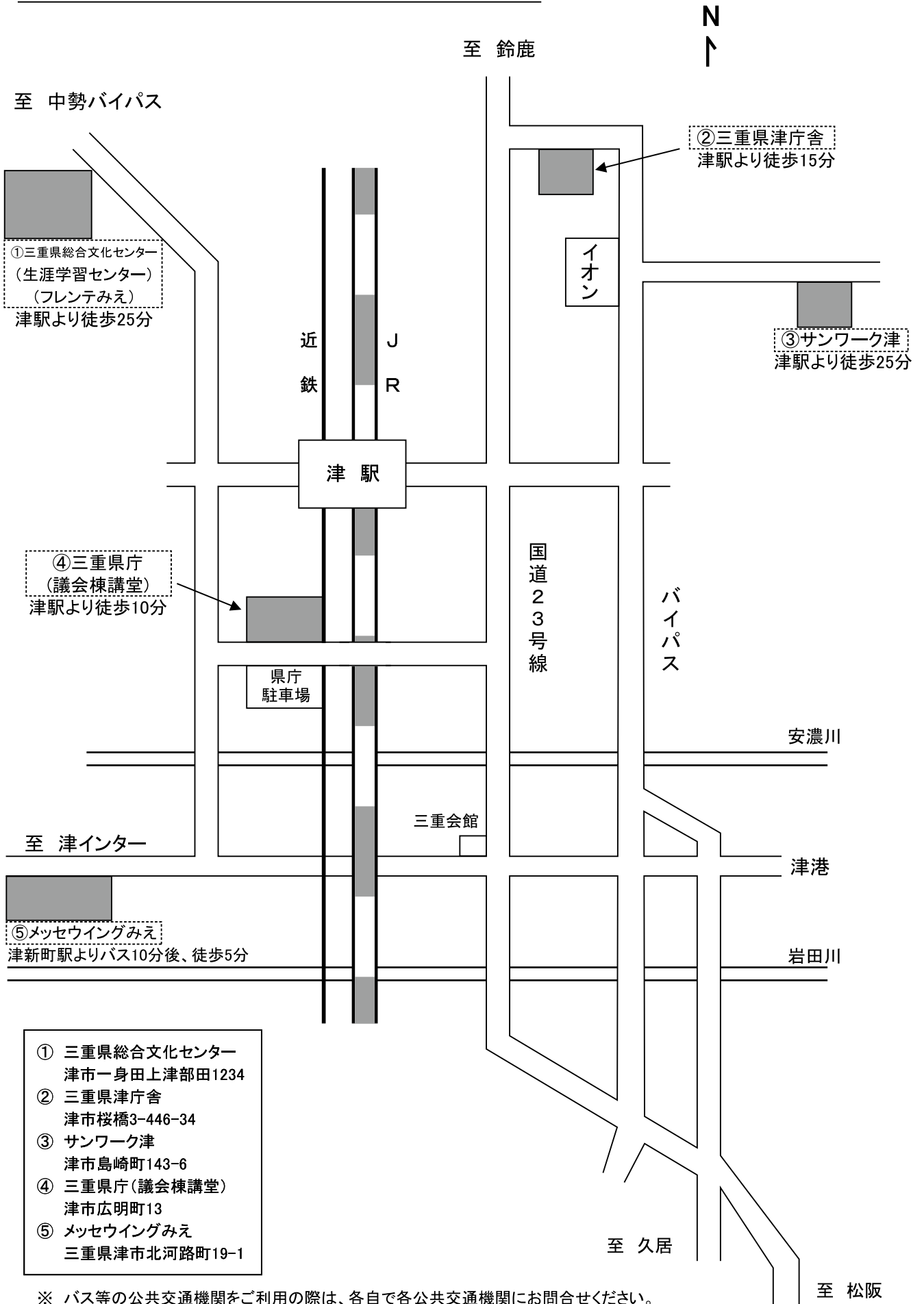
交通機関 近 鉄…西日野駅より徒歩10分
三交バス…近鉄四日市発「南日永経由」
・笹川団地行
・笹川ゴルフ場行
・笹川テニス場行
いずれも「笹川東」下車徒歩5分



※バス等の公共交通機関をご利用の際は、各自で事前に各公共交通機関等へご確認ください。

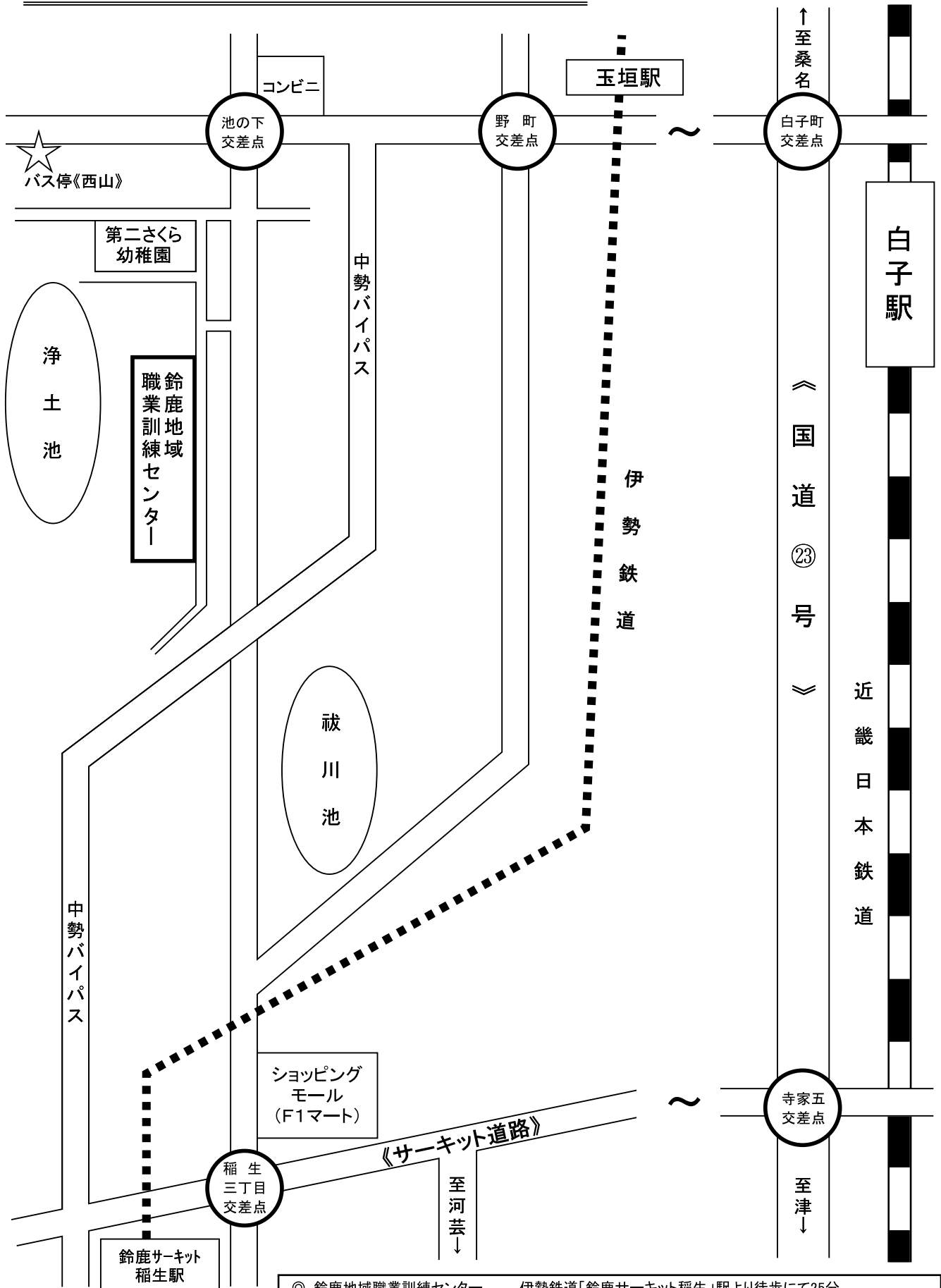
三重職業能力開発促進センター（ポリテク三重）
三重県四日市市西日野町4691

おもな学科試験等会場案内図（津市内）



※ バス等の公共交通機関をご利用の際は、各自で各公共交通機関にお問合せください。

おもな学科試験等会場案内図 (鈴鹿市内)

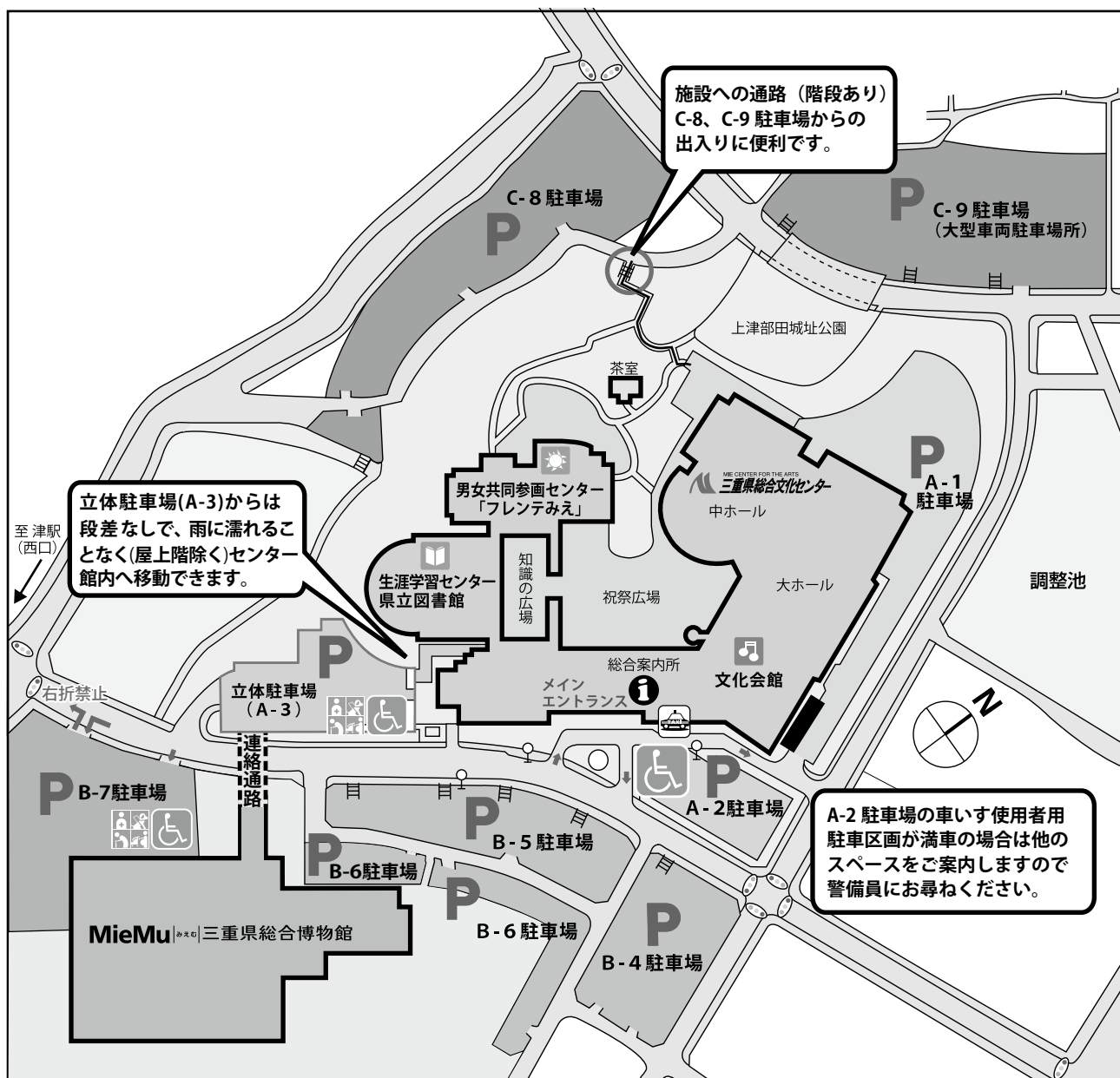


◎ 鈴鹿地域職業訓練センター 伊勢鉄道「鈴鹿サーキット稲生」駅より徒歩にて25分
 鈴鹿市鈴鹿ハイツ1-20 近畿日本鉄道「白子」駅より三重交通バス「西山」バス停まで約20分
 三重交通バス「西山」バス停より徒歩にて10分

※バス等の公共交通機関をご利用の際は、各自で事前に各公共交通機関等へご確認ください。

三重県総合文化センターのご案内

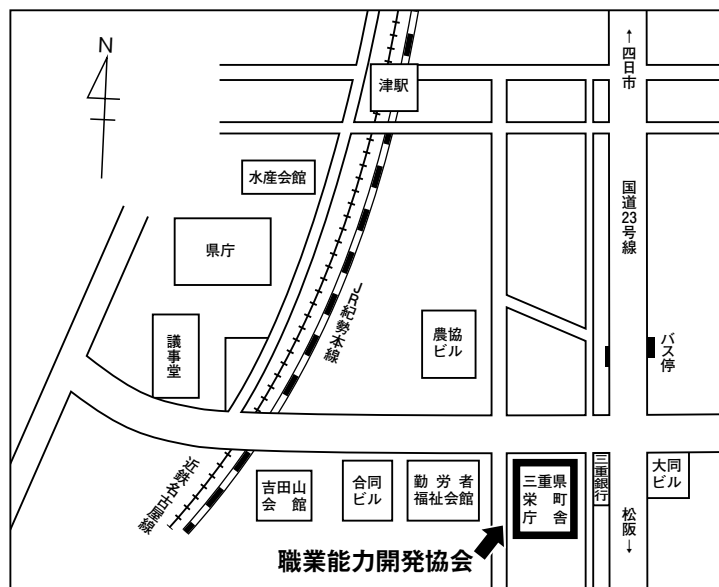
駐車場のご案内



三重県職業能力開発協会

〒514-0004 津市栄町1丁目954番地(三重県栄町庁舎4F)
TEL(059)228-2732 FAX(059)228-1134

<http://www.mivada.or.jp>



〔交通案内〕 JR・近鉄津駅より徒歩10分
三交バス「県庁前」停留所より徒歩3分